

栃の木からの手紙



永遠の 生命の幸を 作れかし
此の現世に ありし間に
まだ夏のつもりでいました。いつ頃に梅雨が明けたのか解らないけれど、夏のつもりでした。朝夕、めっきり涼しくなり、露も降りやすくなり、もう9月です。



栃の木は、しっかりと季節を感じ季節に合った生き方をしています。そして今、結実の季節。実を大きく膨らませています。

9月 長月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 1日： 二百十日… 立春から210日目で嵐の襲来時期。
- 7日： 感謝の集い
- 8日： 白露
- 9日： 重陽の節句
- 12日： 十五夜 満月
- 23日： 秋分の日
- 27日： 新月

自然農法の畑と慣行の畑の境目に4列植えた向日葵（ひまわり）。昨年より一週間遅れで8月上旬に咲き揃いました。でも、昨年ひまわりが在った辺りの芋畑に異変が！そこで今年のひまわりは、お盆前に畑にすき込みました。

芋名月

旧暦八月十五日の月を**中秋の名月・十五夜**。また、芋の収穫時期なので芋名月とも言います。これは中国から伝わった行事ですが、日本独特の風習としては、その翌月の旧暦九月十三日の月を**十三夜の月（豆名月・栗名月）**とといいます。平安時代の頃には宮廷内で月見の風習があり、江戸時代には庶民の間でも十五夜の月と十三夜の月の両方とも月見をしないと片月見とって、良くない事だった様です。

重陽の節句（菊の節句）

春夏秋冬と季節の移り行く日本では、季節の変わり目に節日を設けて地域のお祭りや子供の成長を祝う祝日として暮しの中にいきづいてきました。

- | | | | |
|-----|----|-----------|------------------------------|
| お節句 | 1月 | 7日： 人日の節句 | … 七草粥で新年を祝う。 |
| | 3月 | 3日： 上巳の節句 | … 桃の節句、ひなまつり。女の子の成長を祝う。 |
| | 5月 | 5日： 端午の節句 | … こどもの日。男の子の成長を祝う。 |
| | 7月 | 7日： 七夕の節句 | … 小暑の頃。男女の出会いを星に託し、田植え疲れを癒す。 |
| | 9月 | 9日： 重陽の節句 | … 菊の節句。不老長寿の効用の菊で汚れを祓い長寿を願う。 |

